

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名		
一般		04	01	01	144020	地域医療ビジョン推進事業		
総合計画	分野	暮らし						
	政策	2-6	健康づくりの推進					
	施策	3	地域医療の充実					
目的		医療供給体制の確保						
対象		医療を必要とする市民						
意図		地域医療体制を確保することにより、市民は安心して必要な医療を受けることができる						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること								
①病診連携推進 ・岩手中部地域医療情報ネットワーク協議会への補助、病院連携の啓発等								
②医療従事者確保 ・岩手県国民健康保険団体連合会が運営する市町村医師養成事業に係る市町村負担								
市民参画の有無 [対象外]								
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定		
		後援・協賛		補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
①	石鳥谷医療センターの指定管理者による管理	団体	計画		1	1		
			実績		1	1		
②	地域医療情報ネットワークシステム運営補助	団体	計画		1	1		
			実績		1	1		
③	医療従事者確保支援への参画（国保連への負担金支出）	団体	計画		1	1		
			実績		1	1		
成果指標（上記「意図」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
①	かかりつけ医を持っている市民の割合	%	目標		75.0	76.0		
			実績		72.7	75.7		
②	かかりつけ歯科医を持っている市民の割合	%	目標		75.0	76.0		
			実績		73.4	72.0		
③			目標					
			実績					
成果指標の達成度		目標値より高い	○	概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載）		
市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制の構築にあたっては、地域の限られた医療資源を効率的に活用し、「花巻市の地域医療ビジョン」が掲げる取り組み方針のもと、必要な施策を実施していく。 「かかりつけ医」及び「かかりつけ歯科医」を持つ市民の割合は、概ね目標値どおりの水準を維持しており、「病診連携」に対する市民の関心が高まって来ている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制の確保を図るためには、市の主体的な関与が必要である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	病診連携の普及・推進を図るためには、市民に対して広報やホームページ等を利用した周知を図っていく必要がある。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	当該事業は「花巻市の地域医療ビジョン」に掲げる施策を推進するものであり、職員が関わるのは負担金拠出事務、関係機関との協議や連絡調整等が主な業務であるため、外部への委託は馴染まない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制の確保が目的であり、医療は誰でも必要であることから、受益者は特定の市民ではなく受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
地域医療ビジョンに掲げる施策を推進することにより、市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制を構築することができる。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	01	144020	地域医療ビジョン推進事業

単位：千円				
	28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	6,567	6,842		275
財 源 内 訳	国・県			
	地方債			
	その他	582	366	△ 216
	一般財源	5,985	6,476	491

※特定財源の内訳
市町村医師養成事業市町村助成金（（公財）岩手県市町村振興協会） 366,666円

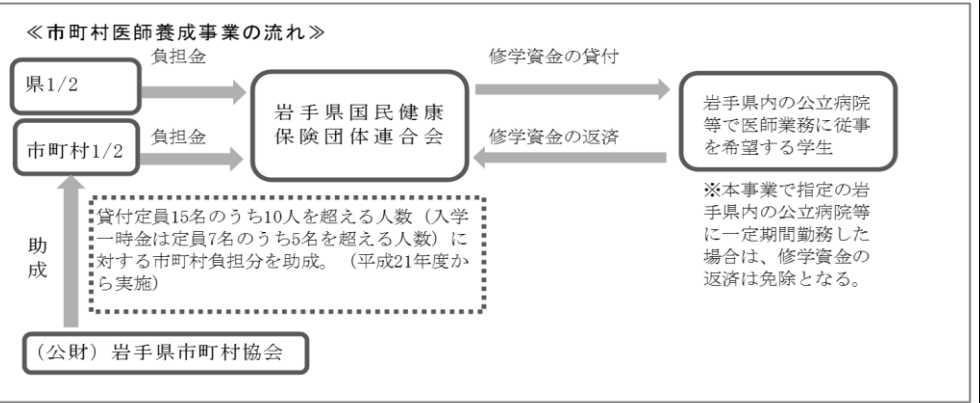
事業期間	○	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標				
健康づくりへの支援と地域医療を充実し健康づくりを推進します				
事業開始の背景・経緯				
市民がいつでも安心して医療を受けられる環境の確保のために「花巻市の地域医療ビジョン」を平成27年2月に作成し、これに掲げる施策を推進するために本事業を導入した				
事業概要				
①病診連携推進 ・岩手中部地域医療情報ネットワーク協議会への補助、病院連携の啓発等				
②医療従事者確保 ・岩手県国民健康保険団体連合会が運営する市町村医師養成事業に係る市町村負担				
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）				

担当部署 部名 健康福祉部 課名 地域医療対策室 担当係長 小松博幸 内線 523
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

地域医療ビジョン推進事業
将来の医療供給体制を確保するため、地域医療ビジョンに掲げる施策を推進

- ①病診連携推進 (1,070千円) (前年比 +499千円)
- ・病診連携の普及啓発
 - ・県立病院を中核とする地域医療情報ネットワークシステムの構築に係る人件費を支援
- ②医療従事者確保 (5,760千円) (前年比 △236千円)
- ・市町村の医師養成にかかる負担金事業を継続するなどの取り組みを実施
《市町村医師養成事業》
 - ・将来、県内の公立病院等の医師として業務に従事しようとする者を対象に実施する修学資金貸付事業を県と市町村が共同で実施。総事業費については県と市町村が1/2ずつ負担する。
 - ・各市町村の負担額は、人口割（前年度10月1日現在の県内市町村人口割合による）で算出。負担金の支出先は岩手県国民健康保険団体連合会。
 - ・単年度毎の定員は15名、一時金7名。（旧制度(H16～19募集分)は定員10名、一時金5名）
 - ・貸付額は月額200千円(最大6年)、一時金7,600千円。義務履行期間は貸付期間と同じ。



- ③花巻市石鳥谷医療センターの指定管理者候補者の選定 12千円（前年比 +12千円）
- ・平成30年3月31日に指定期間が満了する石鳥谷医療センターの指定管理者については、平成29年11月14日開催の指定管理者候補者選定委員会の結果を踏まえて指定管理者候補者を選定し、市議会の議決を経て平成29年12月7日に指定管理者を指定。

平成30年度以降の指定管理者 医療法人中庸会
指定管理の期間 平成30年4月1日～平成40年3月31日
※利用料金制度を導入

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	04	01	01	144030	総合花巻病院移転整備支援事業		
総合計画	分野	暮らし					
	政策	2-6	健康づくりの推進				
	施策	3	地域医療の充実				
目的	公益財団法人総合花巻病院が行う移転新築整備事業への支援						
対象	公益財団法人総合花巻病院						
意図	新病院が中心市街地で引き続き地域医療の中核を担うことにより、しっかりとした地域医療の充実・確保を図る。						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
○総合花巻病院移転整備支援 公益財団法人総合花巻病院が移転新築整備基本構想に則り、病院及び看護学校の整備を行う場合に要する経費に対して補助							
市民参画の有無 【 対象外 】							
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定			
		後援・協賛	補助・助成	委託			
活動指標（上記「事業概要」に対応）			単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	工事期間20月における工事進捗率	%	計画			15.0	
			実績			7.5	
②			計画				
			実績				
③			計画				
			実績				
成果指標（上記「意図」に対応）			単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①			目標				
			実績				
②			目標				
			実績				
③			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
目的妥当性	公共関与の妥当性	地域の限られた医療資源を効率的に活用し、市民が安心して医療を受けられるよう、市が公益財団法人総合花巻病院が行う移転整備事業に対して補助し、地域医療の中核を担う医療施設の整備を支援することは妥当。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	公益財団法人総合花巻病院が行う移転整備事業に対して補助することによって、公的補助の支援を基に他の資金調達も得やすくなり、事業を安定的に進めていくことができる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	本事業は「花巻市の地域医療ビジョン」に掲げる施策を推進するものであり、また、職員が関わるのは補助金支出事務、関係機関との協議や連絡調整等であることから、どちらも削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	複数の診療科と入院機能を備えた総合病院をまちなかに維持することにより、市民が安心して医療を受けられる機会を確保でき、中核となる病院施設の建設工事への公的負担は補助対象経費の1/2の範囲内とするものであり、適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
地域医療の中核を担う総合花巻病院がまちなかに移転整備することにより、限られた医療資源を活かして花巻市における地域医療の充実を図り、市民が安心して医療を受けられる環境が構築される。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	01	144030	総合花巻病院移転整備支援事業

単位：千円					
		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			15,000		15,000
財 源 内 訳	国・県				
	地方債		14,200		14,200
	その他				
	一般財源		800		800

※特定財源の内訳	
合併特例債	14,200千円

事業期間	単年度繰返	〇	期間限定	〔平成 29 年度 ～ 平成 31 年度〕
部重点施策における目標				
安心して必要な医療を受けています				
事業開始の背景・経緯				
市は、市民が安心して必要な医療を受けられるよう「花巻市の地域医療ビジョン」を策定。総合花巻病院の移転新築整備基本構想は地域医療ビジョンに合致していることから、市は地域医療の中核を担う総合花巻病院の移転整備事業に対して支援を行うもの。				
事業概要				
○総合花巻病院移転整備支援 公益財団法人総合花巻病院が移転新築整備基本構想に則り、病院及び看護学校の整備を行う場合に要する経費に対して補助				
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）				

担当部署 部名 健康福祉部 課名 地域医療対策室 担当係長 小松博幸 内線 523
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【事業の目的と手法】
花巻市内における効率的で質の高い医療供給体制の構築を図るため、岩手県の地域医療構想並びに市の地域医療ビジョン及び市が策定した立地適正化計画の理念を踏まえた総合花巻病院の移転新築整備基本構想に基づき、病院及び看護学校の整備を行う経費に対し補助金を交付する。

【事業費と補助対象経費】 総合花巻病院移転整備事業の建設工事費及び調査設計費(H29～31) 単位:億円			
建設工事費及び調査設計費	うち建設工事費	69.6	総合花巻病院移転整備支援事業 補助対象事業費 34.9億円 (市単独補助対象経費)
	うち病院棟	48.2	
	うち看護学校棟	5.1	
	うち調査設計費	2.5	

- 【補助金の算出】
- 市単独補助対象経費（34.9億円）の1/2以内とし、1.2億円を上限とする。
 - 発注済工事費のうち市単独補助事業の補助基本額3,298,478千円に対する補助金算出額は1,649,239千円であり、補助金上限額1.2億円の割合は72.7%である。
 - 平成29年度補助金額は、平成29年度末出来高の補助金算出額21,692千円のうち上限額の割合72.7%を乗じた額15,000千円とする。（百万円未満切り捨て）

- ① 平成29年度末の工事出来高事業費のうち補助基本額
43,385千円
- ② 平成29年度補助金の算出額
43,385千円×1/2≒21,692千円
- ③ 補助金額
21,692千円×72.7%=15,000千円
(百万円未満切り捨て)

	H29	H30	H31	※億円単位で整理
市単独補助金額（億円）	0.15	6.00	5.85	

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名		
一般		04	01	02	144040	救急医療確保事業(とりまとめシート)		
総合計画	分野	暮らし						
	政策	2-6	健康づくりの推進					
	施策	3	地域医療の充実					
目的		夜間・休日の医療体制の確保						
対象		救急医療を必要とする市民						
意図		救急医療を必要とする市民のため、夜間・休日等の救急医療体制の確保・充実を図る						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること								
○休日等歯科診療所運営 休日の歯科救急医療の確保 ○在宅当番医対策 休日における一次救急患者の医療を確保 ○病院群輪番制運営 夜間及び休日における二次救急患者の医療確保のため、病院群輪番制の事業運営に要する経費に対して補助 ○救急医療確保支援 夜間及び休日における二次救急医療体制の確保を図るため、病院群輪番制に参加する民間二次救急告示病院の事業運営に要する経費に対して補助								
市民参画の有無 【 対象外 】								
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定		
		後援・協賛		○ 補助・助成		○ 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)		
① 休日歯科診療所診療日数	日	計画		70	70			
		実績		70	70			
② 休日当番医数	ヶ所	計画		49	52			
		実績		49	52			
③ 病院群輪番制参加病院	ヶ所	計画		5	5			
		実績		5	5			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)		
① 休日歯科受診者数	人	目標		300	300			
		実績		342	363			
② 休日当番医受診者数	人	目標		5,500	5,500			
		実績		5,436	5,335			
③ 病院群輪番制を利用した市民数	人	目標		1,500	1,500			
		実績		1,122	967			
成果指標の達成度		目標値より高い	○	概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
市民がいつでも安心して医療を受けるための救急医療の確保が目的であるが、休日歯科診療の受診者の増加は診療所が広く周知され、近隣の市町村からの利用の影響があると考えられる。 休日当番医や病院群輪番制による救急医療の確保は、受診の心得として具合が悪くなったら無理せず診療時間内の受診を勧めていることから、利用者数の減少につながっているとも考えられる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	休日、夜間に患者を受け入れる医療機関が無い場合、市の主体的な関与が必要である
	☐ 妥当である	
	☐ 見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	救急医療患者を増やすことが目的ではなく、休日及び夜間等の初期、二次救急の場を確保し市民に提供することが本来の目的であるため、広報やホームページ等で救急医療を必要とする方に継続して周知を図っていく必要がある
	☐ 向上余地がある	
	☐ 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	当該事業は、関係医療機関への委託又は補助金交付により実施している事業であり、事業遂行に必要な経費、県の補助単価に準じた算定により行っており、削減余地はない。 職員が関わるのは、委託事務、補助金交付事務、連絡調整等が主な業務であり、外部への委託は馴染まない。
	☐ 事業費の削減余地がある	
	☐ 人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	・受益者は特定の市民ではなく、急な発病や負傷した際には、誰でも診療を受けられることから、受益機会は均等である
	☐ 受益機会の見直し余地がある	
	☐ 費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
事業委託や補助金交付による支援によって、夜間・休日等の救急医療体制を確保した結果、市民がいつでも安心して医療を受けられることができた。 さらに、救急医療が必要な方が適切に受けられるよう、上手な医療機関のかかり方についての周知、普及啓発を行うことが、休日における一次救急患者の医療の確保につながることも、一層の周知、普及啓発に努める必要がある。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	02	144040	救急医療確保事業(とりまとめシート)

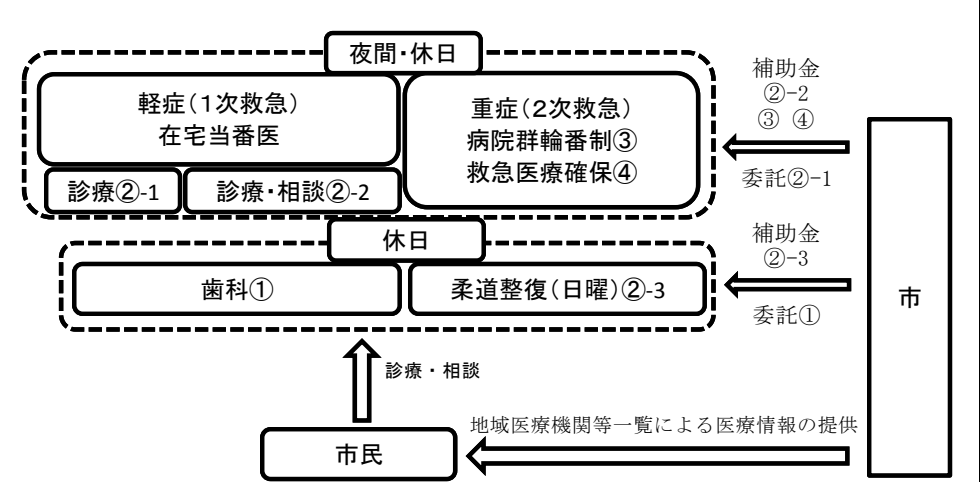
単位：千円				
	28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	88,308	88,409		101
財 源 内 訳	国・県			
	地方債			
	その他	13,129	13,480	351
	一般財源	75,179	74,929	△ 250

※特定財源の内訳	
12.2.3.1 病院群輪番制運営費補助金負担金	10,255千円 (北上市6,502千円、遠野市2,547千円、西和賀町1,206千円)
13.1.2.2 休日歯科診療報酬	3,225千円

事業期間	〇	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標				
安心して必要な医療を受けています。				
事業開始の背景・経緯				
市民がいつでも安心して医療を受けられる環境の確保のため事業を導入した。				
事業概要				
○休日等歯科診療所運営 休日の歯科救急医療の確保				
○在宅当番医制対策 休日における一次救急患者の医療を確保				
○病院群輪番制運営 夜間及び休日における二次救急患者の医療確保のため、病院群輪番制の事業運営に要する経費に対して補助				
○救急医療確保支援 夜間及び休日における二次救急医療体制の確保を図るため、病院群輪番制に参加する民間二次救急告示病院の事業運営に要する経費に対して補助				
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）				

担当部署 部名 健康福祉部 課名 健康づくり課 担当係長 横田直子 内線 390
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- ①休日等歯科診療所運営事業 4,727 千円 (前年度比 +96千円)
運営委託料 4,081千円、医薬材料費等 646千円
【委託先】花巻市歯科医師会 【診療日】日曜祝日：9時～13時 【場所】花巻保健センター内
- ②在宅当番医制対策事業 6,671 千円 (前年度比 +120千円)
1. 在宅当番医制事業運営委託料 4,371千円
【委託先】花巻市医師会 【診療日】日曜祝日：9時～17時 【場所】外科・内科各1医院
2. 地域医療対策事業補助金 2,100千円
【交付先】花巻市医師会 【内容】17時～翌日午前9時、医師会会員による診療及び電話相談(オンコール)
3. 柔道整復師在宅当番事業補助金 200千円
【交付先】花巻市整復師会 【内容】日曜：9時～17時まで診療
- ③病院群輪番制病院運営事業 17,011 千円 (前年比 △113千円)
病院群輪番制病院運営事業補助金 17,011千円
【交付先】総合花巻病院、岩手医大附属花巻温泉病院、北上済生会病院
- ④救急医療確保支援事業 60,000 千円 (前年比 ±0円)
救急医療確保支援事業補助金 60,000千円
【交付先】総合花巻病院(40,000千円)、岩手医大附属花巻温泉病院(20,000千円)
【内容】輪番当番日以外の救急体制維持